学校番号	1006

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」（光村図書）						
副教材等	「高校硬筆の練習」（教育出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中学校までの学習で身につけた書写能力をさらに伸ばすことに加え、芸術としての「書」を学びます。漢字の変遷や書体について学んだうえで、さまざまな古典・小筆を学習し、書の表現や鑑賞する力を身につけます。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して，生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め，書写能力の向上を図り，表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし，書の伝統と文化についての理解を深める。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の歓びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を工夫している。	日常生活の書の効用、文字及び書の伝統について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	活動への参加状況や態度 ワークシート	創作活動への参加状況や態度 ワークシート 作品	観察 ワークシート 作品	学習活動への参加状況や態度 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学	単	学習内容	主な評価の観点	単元（題材）の評価規準	評価方法

			a	b	c	d		
一学期	筆の使い方を覚えよう	さまざまな線質の書き方を学ぶ。極太、極細、遅速、緩急、などを極端に表現する。筆の限界を知る。線に感情を入れる。（はしゃいだ線、不安な線など）	○	○	○		a:用筆や運筆、用具・用材の扱い方による表現の違いに関心をもち、理解しようとしている。 b: 用筆や運筆、用具・用材の扱い方による表現の違いを理解し、工夫している。 c: 用筆や運筆、用具・用材の扱い方を変えることにより、表現の違いを表すことができる。	授業態度 作品
	楷書を書く	【臨書】 九成宮醴泉銘 孔子廟堂碑	○	○	○		a:ふたつの楷書を鑑賞し、書風の違いについて関心を持ち、理解しようとしている。 b:各古典の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現を工夫している。 c:各古典の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現をすることができる。	制作態度 ワークシート 作品
	隷書を書く	【臨書】 曹全碑	○	○	○		a:隷書に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:隷書の特徴を生かして表現できるよう工夫している。 c:隷書の特徴を理解し、表現することができる。	制作態度 ワークシート 作品
二学期	行書を書く	【臨書】 蘭亭序	○		○	○	a:蘭亭序の書美と表現技法に関心をもち、意欲的に身につけようとしている。 c:蘭亭序の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現をすることができる。 d:蘭亭序の書美を理解し、表現方法を理解している。	制作態度 ワークシート 作品

	漢字仮名交じりの書	【創作】 好きな言葉や詩を使って作品を制作する	○	○		○	a:漢字仮名交じりの書の創作に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。 b:自分の中にある作品のイメージに表現を近づけるため、紙面構成や文字の造形などを様々に工夫している。 d:書き上げた作品を互いに鑑賞し合い、意見交換をすることができる。	制作態度 ワークシート 作品 鑑賞カード
三学期	仮名の書	【臨書】 蓬莱切 高野切第三種		○	○		a:小筆に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。 b:小筆の特徴を生かしながら表現しようとしている。 c:小筆の特徴を生かして書くことができる。	制作態度 ワークシート 作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。